

むつ市議会議会報告会及び市民との意見交換会報告書

報告会名称	第1回 むつ市議会 議会報告会及び市民との意見交換会 (第2班)
開催日時	平成26年 7月15日(火) 午後6時30分 開会 午後8時45分 閉会
開催場所	むつ市中央公民館
出席議員等	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者 半田義秋 ・司会者 中村正志 ・報告者 横垣成年、中村正志 ・記録者 菊池光弘 ・班 員 横垣成年、目時睦男、中村正志、半田義秋 村中徹也、菊池光弘 ・欠 席 目時睦男 ・事務局職員 2名
参加人数	6 名
報告内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第219回定例会の議案審議内容 2. 平成26年度一般会計予算及び各会計予算の概要 3. 第220回定例会の議案審議内容
報告に対する 質疑・意見等	<p>【第219回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6号(国保税の改定)、制度における国の責任を迫及すべき、議会は意見書などをあげるべきではないか。 <p>【平成26年度予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保会計を含め、市として健康なむつ市をつくるために病院にかからないようにする対策も必要ではないか。 ・生活保護費について、不正受給の問題などもあり、決定するときの調査がずさんではないかと思う。 一方では、受給せずにぎりぎりの生活をしている人もいる。改善を求める。 実態把握についても、民生委員だけに頼るのではなく、別な角度からの対応を一緒に考えて行くべきではないか。 話相手を求めて何カ所も病院を通うお年寄りもいる。市民の意識改革、社会教育も必要だ。 ・予算の冊子の人件費の取り扱いがわかりにくい。(労働費 50,000 円) <p>【第220回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告17号、軽自動車税の増税は市民負担が増えるのに賛成多数とはどういうことか。

<p>意見交換内容 〈主な意見・ 要望等〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会報告会を含め、いろいろな会合に人が集まらない。少数の人の意見が全体の意見となる危険性がある。集まりやすい方法、運営の工夫が必要である。 ・ 議員の態度に傲慢な人がいる、資質を疑いたくなる。選挙での公約実現のためにどのような活動をしているのかが見えてこない。もっと説明をすべきだ。 ・ 議会を2回傍聴したこともあるが、つまらなかった。魅力ある議会だと何回でも行きたいと思う。 ・ 一般質問をしない議員がいる。議員定数の削減をすべきではないか。その際には、議会で議論をするだけでなく、市民の声も反映させるような機会を持つべきだ。 ・ 視察や研修に行った場合、内容等を報告すべきだ。 ・ 自己破産や会社をつぶした人もいる、議員としてどうなのか。 ・ 福島原発事故を受けて、中間貯蔵施設について今一度、見直しも含めて議論しなおすべきではないか。 ・ 子ども議会の取り組みについて、事前に準備をしすぎているのではないか。 ・ 議会の広報活動が少ない、足りない。ネットでの動画配信やホームページの充実、議会だよりの発行もすべき。
<p>記録者所見</p>	<p>2定例会分の報告をしたために説明が長くなりすぎてしまった。改善すべきだと感じる。参加者は少なかったものの、意見として、どこどこを直してほしいとか、物質的なものをつくってほしいといった要望がほとんどなく、制度、あるいは現状を改善すべきとの意見が多かったのは、予想外であったが、それだけ参加者の意識が高かったのではないかと思います。</p> <p style="text-align: right;">記録者氏名 中村 正志</p>

むつ市議会議長 様

むつ市議会議会報告会及び意見交換会の実施に関する規程第10条第1項により提出します。

平成26年 7月29日

代表者 半田 義秋



むつ市議会議会報告会及び市民との意見交換会報告書

報告会名称	第1回 むつ市議会 議会報告会及び市民との意見交換会 (第2班)
開催日時	平成26年 7月22日(火) 午後6時30分 開会 午後8時40分 閉会
開催場所	大畑公民館
出席議員等	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者 半田義秋 ・司会者 中村正志 ・報告者 横垣成年・村中徹也・中村正志 ・記録者 菊池光弘 ・班 員 横垣成年、目時睦男、中村正志、半田義秋 村中徹也、菊池光弘 ・欠 席 目時睦男 ・事務局職員 2名
参加人数	9名
報告内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第219回定例会の議案審議内容 2. 平成26年度一般会計予算及び各会計予算の概要 3. 第220回定例会の議案審議内容
報告に対する 質疑・意見等	<p>【第219回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員提出議案第6号特定秘密保護法案の撤廃を求める意見書について、 どういう議論だったのか、反対する方の意見を聞きたい。 <p>【平成26年度予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災無線の放送が聞えない、各世帯に一台、川内地域のように受信機が欲しい。 ・ムチュランとムチュリーが教えるむつ市の予算の冊子で、むつ市の家計簿に例えているが、300万円の例え及びパーセンテージ表記がないのは他の市と比べて分かりづらい。 ・土木費で、除雪費7億円は、どの様に使われているのか分かりづらく、融(排)雪溝の設置区間の目標さえ見えない。市民はただ消えていっているようにしか思えないので、7億円の使い道を示して欲しい。 また、除雪の受注業者一覧は市民に公開している市もあるので、検討して欲しい。 ・「道の駅」整備事業で、防災拠点、防災施設完備とあるが、早掛沼は、十勝沖地震時に決壊して今の「道の駅」を造る付近まで、氾濫した水が流れてきたと思うが建設地として大丈夫なのか。

	<p>また、これからの「道の駅」には足湯、温泉、人気の食べ物などが必要で、観光客相手ばかりでなく、地元の人が活用できるような施設にして欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原発の避難マップに、大畑町で 30 km 圏内に入らない地区は記載されていない。どこに逃げればいいのか。震災後も、防災無線の放送が従来どおりだ。「火事」「津波」と緊迫感のある放送にしてはどうか。 ・労働費でシルバー人材センターにばかりお金をかけないで、若い人が働ける企業を誘致して欲しい。 ・予算書に過去の実績が載っていないので比較できない。(過去 5 年位) ・原発関連交付金の使い方を考えて欲しい。近隣では青い街(防犯)灯、テレビ電話など使い方が見える。 <p>【第 220 回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地熱構想での「燧岳」の場所はどの辺りか。
意見交換内容 (主な意見・要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・むつ市のまちづくりビジョンをもっと考えて進めて欲しい。旧田名部駅前を活性化するために、まさかりプラザ、イベント広場、来さまい館があるのにそんなに活用されず、更に市営住宅を建設する必要性とか、道の駅建設についても、報告されたものをきちんと開示して進めて欲しい。 ・空き家条例をもっと勉強してほしい。今にも壊れそうな家が多い。 ・解体される住宅のヒバ材を利活用できないか。 ・議員提出議案で意見書提出だけで、政策的な提案が少ないのはなぜか。
記録者所見	<p>議案の説明に関しては、2 回の議会の議案説明もあり時間を使い過ぎたと感じています。しかし、第 1 回目としては大成功だったと思います。各議員の報告及び質疑は、大変良かったし、堂々とした振る舞いと感じました。</p> <p>ただ、人数が少なかったのは、反省しなければならないと思います。今後は、今回の改善点を考え第 2 回目は、より一層市民と深く話し合いたいと思っています。</p> <p style="text-align: right;">記録者氏名 菊池 光弘</p>

むつ市議会議長 様

むつ市議会議会報告会及び意見交換会の実施に関する規程第 10 条第 1 項により提出します。

平成 26 年 8 月 5 日

代表者 半田 義秋

